

【テーマ4: 研修観の転換と教師の主体的・協働的な学びを実現するための大学と教育委員会との連携による「共創型学校支援システム」の構築】

【国立大学法人福岡教育大学】

協力委員会: 福岡県教育委員会 義務教育課
福岡県教育センター
福岡教育事務所、北九州教育事務所、北筑後教育事務所
南筑後教育事務所、筑豊教育事務所、京築教育事務所
協力企業: 株式会社内田洋行、EduPorte株式会社

モデル開発概要

現場における課題

- ◆ 近年の学校現場において若年や経験年数の少ない教員が校内研修や授業研究において中核的な役割を担わざるを得ず、それを指導・援助する教育委員会の指導主事も業務が多岐にわたり多忙化を極めており、学校支援の効率化・高度化を図る必要がある。

モデルの概要

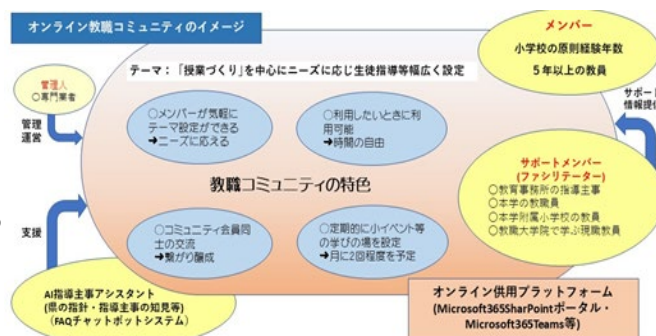
- ◆ 教師や学校へのサポート機能の充実を図るため、大学と教育委員会が連携した新たな学校支援システムとして、オンラインを活用した教員による教職コミュニティの構築を目指し、教職コミュニティ(共用)プラットフォーム(COMES Net)を開発した。

活用する技術・ツール等

- Microsoft365 SharePoint、Microsoft365 Forms、Microsoft365 Teams、Microsoft365 OneDrive等

高度化に資する取組

オンライン上に教職コミュニティを形成するための教職コミュニティ共用プラットフォームを開発した。プラットフォームは、マイクロソフト365を基本システムとして構築している。Share Point、Teams、Forms等



のアプリケーションを利用して、テキストやファイル、動画媒体等による情報提供・情報共有や、小規模イベントの開催やチャット等によるメンバー同士のコミュニケーションを広げることができ、教員が主体的・協働的に学ぶことができる場を提供する。

モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

- ◆ オンライン上での教職コミュニティの形成・活用は、教員がいつでもどこでも必要とする情報にアクセスでき、授業づくりや授業研究の企画に資する情報提供や教員の困り感の解消に機能する。
- ◆ システムをマネジメントする大学にとっては、教職コミュニティ内の状況を観察・分析することで、学校現場における現代的教育課題が把握でき、大学の教育研究活動に資する。